



12月

園だより

2022.12.1 名島保育園
園長 林田 睦子

おかげさまで今年も大きな怪我や事故なく無事に過ごすことが出来ました。一年間の無事に感謝致します。
2023年も皆様にとりまして良い年となりますように、心からお祈り申し上げます。良いお年をお迎え下さい(^^)

12月の行事

3日(土) 子育て支援会

クッキング教室

「高野豆腐のはさみ揚げ」

5日(月) 発表会・2階クラス

7日(水) 健康診断

12日(月) 発表会・2階クラス

保育園年末年始のお休み期間

12月29日(木)～

1月3日(火)まで

1月6日(金) もちつき

1月7日(土) 子育て支援会

12月の一口メモ

じょうどうえ
【成道会】—— 12月8日

お釈迦様が菩提樹の下で悟りを開いて仏陀になった日を祝う。

【世界人権デー】—— 12月10日

昭和23年、世界人権宣言が国連で採択された。

人間が人間らしく生きていくために必要な基本的な自由と権利を、すべての人民と国が守るための共通基準である。

【クリスマス】—— 12月25日

イエス・キリストが生まれた日のお祝い。

日本では大正時代から一般化した。

<お知らせ・お願い>

保育園での発熱時の対応について

病院のコロナウィルス感染対策等の関係により、現在保育中に発熱したお子さんを保育園から病院へ連れて行くことが出来ません。

その為、保育中に発熱されたお子さんの早急なお迎え、ご家庭でのお子さんの体調変化の把握がとても重要になっております。保育園でもより一層子ども達の変化に気づく事のできるよう留意し、保護者の皆様と一緒に子どもたちの安心・安全を守っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

《『もちつき』を1月6日(金)に行います。》

当日の給食メニューはカレーです。

2階クラスのお子さんは、カラのお弁当箱をご持参下さい。(中身は入れないで下さい)

1階クラスは通常通り、保育園で準備致します。

10時頃から「きね」で餅をつくため、お父様のお手伝いがあると助かります。

又、お餅をついている時の「餅返し」や餅を丸めるお手伝いをして頂けるお母様やご祖父母様よろしくお願ひ致します。担任までお知らせください。

《感染症対策について》

年末年始、外出が増えると思いますが、出来るだけ人込みを避けるようにしましょう。

- ① 手洗いやうがいを日常的に行いましょう。
- ② 十分な休養や睡眠をとり、体調を整えましょう。
- ③ 咳エチケットに気を付けましょう。
- ④ 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染拡大防止に努めましょう。

インフルエンザに感染した時の、保育園登園基準は以下のようにしております。

**※発熱した日を0日目とし、発症した後5日を経過しかつ、
解熱した後3日を経過するまでです。**

●「ハイ」と言える素直な心を持ちましょう。

最近、「ハイ」という気持ちの良い返事を聞くことが少なくなりました。子どもが大きな声で元気に「ハイ」と答えている姿ほど、微笑ましいものはありません。「ハイ」と返事をする事は、相手の言っていることを、「すべて受け入れました」ということの表明なのです。「ハイ」と言えないということは、「あなたの言っていることを受け入れません」と言っているのと同じなのです。

病気の指導をしていて、治りが非常に早い人と、遅い人がいます。治りが早い人には共通して「ハイ」と言える素直さがあります。反対に治りが悪い人には頑固な人が多い様です。素直さを持つとき、すべてが流れ、循環を始めるのです。自分がそれまでもっていたわだかまりや固定観念をすべて捨て去るとき、新鮮なエネルギーが体内に満たされます。流すことで淀みがなくなると、真っ直ぐに気というエネルギーが宇宙から流れるのです。

白は汚れると灰色に変色します。白は光の色であり、自分を写す鏡の色でもあります。すべての色に染まる白はまた、すべてを受け入れる色でもあります。それが灰色にくすんでいると、何色にも染めることができなくなってしまいます。人間も先入観や常識という間違っただインプットをいったんリセットしないと、新しい情報を取り込むことができなくなります。

煙突がススで詰まると、空気の循環が滞って光がくすぶり、一酸化炭素などの有害ガスを発生して、人体に悪影響が出ます。人間もまた同じように、こころがススだらけで詰まっていて、気というエネルギーが循環せず、古い気が淀んでしまっている人が多いのです。良い気を宇宙から取り込んで循環させるためには、こころの煙突掃除が先決です。

そのスス払いで大切な要点は、あらゆる常識をリセットすること、他力本願的な考え方をやめること、そして何よりも、自分自身の無限の可能性を信じることです。

今起きている現実には、すべて魂の気づきのためであり、心と身体のスス払い（浄化である）と思ってください。そう思える素直さが発揮されたときに、不安と恐怖から開放されます。毎日が楽しく、ウキウキ、ワクワクして、楽しい、嬉しい、幸せと言って暮らせるようになります。「あるがままに生きる」ということが素直さを実践する方法です。

「あるがままに生きる」ということは、「すべてを受け入れる」ということです。「相手をありのままで、受け入れる」ということが本当の愛です。人それぞれにみな違いがあることを認めてあげる事です。要求しないことです。今の自分をあるがままに受け入れて信頼し、愛することができる、人を無条件で受け入れて愛することができるようになります。

「ハイ」は「肺」と同じ言霊を持ち、「命をよみがえらせる」という意味を秘めます。こころから「ハイ」と言えるとき、新鮮なエネルギーに満たされて、宇宙から「生かされている」という喜びが沸き上がってきます。「ハイ」という言霊で、「肺」のリンパの流れが良くなり、滞っていた老廃物が一気に掃き出されて、身体の浄化が行われるでしょう。



『マワリテメクル小宇宙～暮らしに活かす陰陽五行～』

日本玄米正食研究所 ムスビの会 岡部 賢二 著